

今年度の募金先を決定。

東日本大震災の発生以来、本校では募金活動ならびにボランティア活動を続けています。そして募金先を精査しながら送金してきたのですが、代議員が集まる生徒会議会で伝えたとおり、今年度は以下の活動を支援することにしました。

募金先その1：

「コラボ・スクール」(NPO法人カタリバ) 200,000円

「コラボ・スクール」とは、東日本大震災後に寄付・募金でできた被災地支援の放課後学校のことで、現在2校あるうち1校は、宮城県女川町にあります。女川町は震災の影響で住居の82.6%が倒壊し、最も大きな被害を受けたところです。家とともに勉強場所を失うことで、将来が狭まり、諦める夢が増えてしまうかもしれません。そんな子ども達のための「放課後の学校」それが「コラボ・スクール」なのです。2011年に開設し、震災直後に比べて2.7倍の勉強時間を与えています。「夢だけは、壊せなかった大震災」のスローガンのもと、子ども達は夢に向かってたくましく歩き始めています。そんな勉強環境を支援するため、今回、募金という形で支援したいと思いました。



(↑震災直後の女川町)

また、そんな女川町に、本校は名経大と提携し、毎年夏にボランティアで訪れているのです。よって、自分達が募金したものがどのように活用されているのか、視察することもできそうです。そして、「遠隔地からの協力」「現地に訪問」を経験することで関心は高まり、関係も深まり、さらなる支援ができるかもしれません。募金・ボランティアの新しい可能性も考えてみましょう。



(↑勉強場所がなく地面で勉強する子ども)

(詳しくはこちらまで <https://www.collabo-school.net>)

募金先その2：

「ネパール大地震緊急基金」(ユニセフ) 100,000円

2015年4月25日午前11時56分、ネパールの首都カトマンズをマグニチュード7.8の地震が直撃しました。被害が最も深刻な14郡で、支援を必要としている子どもが110万人、地震で犠牲になった人約9000人(負傷者20,000人以上)、地震の影響で学ぶ場を失った子ども約100万人などといわれています。また、多くの世界遺産を失ったことで文化的打撃だけでなく、主たる観光資源を失い、復興への原動力が乏しい状況ともいえます。東日本と同じく大地震の影響で、生活に困窮する人が多いネパールです。「少しでも力になれる」ということがたくさんあります。その一環として、今回は「募金」という形で援助します。

例：3,000円の支援で…予防接種用ワクチン105回分

10,000円の支援で…家庭用水キット6家族分

50,000円の支援で…手軽に勉強できる教材セット280人分

(詳しくはこちらまで <http://www.unicef.or.jp/kinkyu/nepal/>)

今回は、継続支援をしている東日本大震災と、おなじく大地震で被害をうけたネパールに対する支援を考えました。共通して知ってもらいたいのは、「被災地の現状」です。災害のあった時、その直後、数年後、現在…それぞれ異なる様相ですが、今回の報告が、みなさんの「記憶を消さない・忘れさせない」ことのきっかけになれば良いと思います。また、様々な形で尽力している人がいることも、知ってください。

募金・ボランティアを旺盛に。

3月3日に募金活動を行います。対象は「介助犬」の訓練施設への支援です。詳細は、先日発行した「高志」に掲載されていますのでご覧ください。

本紙『GLORY』や生徒会活動で紹介しきれていないだけで、実にたくさんの募金・ボランティア活動があります。例えば、台湾。5年前の日本と同じく、大地震によって大きな打撃を負いました。台湾は5年前、日本の災害に対して、たくさんの協力をしてくれたところです。見過ごすわけにはいきません。

世界には、たくさんの災害があり、また物資・金銭に乏しく支援を必要とする国がたくさんあります。しかし、その全てに対して、生徒会が紹介し、支援を促せるわけではありません。学校で行える支援はごく一部。大事なものは、それらをきっかけにして関心を高め、世界中に目を向けることです。苦しんでいる人たちを少しでも救う。何か貢献する。そんな気持ちをもつことが、何より大切です。「学校でやってくれば募金するけど…」と受け身にならず、能動的に「募金する」「募金にいく」ことができるようにしましょう。受け身のままでは、脳も気持ちも活性化されません。主体的に募金ができれば、募金先の現状にもっと理解が深まり、関心が高まっていくことでしょう。「自分の意思で支援する」。この気持ちを忘れずに。

高蔵サッカー部史上、初の快挙！

先日行われた「愛知県 新人大会」において、本校サッカー部が見事優勝に輝きました。これは、サッカー部創設13年目にして、初めてのことです。強豪：岡崎城西高校を延長戦でやぶってのベスト4進出。準決勝では刈谷高校を1-0で撃破し決勝戦へ。先週土曜日に中京大学中京高等学校と対戦しました。前半早い時間帯に先制されるも、後半に追いつき、逆転に成功。サッカー部史上、初の県大会優勝です。おめでとうございます。



☆箏曲部☆

箏曲部は積極的に校外演奏をしています。2月13日の土曜日、イオン八事店4階のイベントコーナーにて、演奏披露がありました。昭和区区民ふれあい芸術祭準備委員会が主催したもので、13時からと14時からの2部にわたり、「ジブリメドレー」「春よ来い」「夢はマーチに乗って」を披露しました。100名以上のお客さんが椅子に座ったり、立ち止まったりしながら、琴の音色に聞き入っていました。



☆空手☆ ☆トランポリン☆

報告が遅れましたが、2年梓組の川合壮時くんが、12月中旬にモスクワで開催された「2015ロシア青少年空手道選手権大会」に日本代表選手として出場してきました。今回の大会では、日本選手団のキャプテンを任せられたらしく、円陣での声出しをはじめ、各国の先生及び支部長への挨拶、開会式での太鼓演舞などキャプテンにしか経験が出来たそうです。体が弱く、体を強くするために始めた空手ですが、将来は空手を生かした職業につきたいと考えています。

また、以前からお伝えしている中学1年生の北折さんが、またまた活躍です。全日本級の大会「SSU CUP 2016タンブリングオープン」にて優勝しました。

